



新年のご挨拶 ～令和六年を迎えて～



赤目まちづくり委員会 市民センター

赤目まちづくり通信

みんなで考え みんなでつくる 夢はくぐむ わがまちあかめ

赤目まちづくり委員会会長 藤村 純子



新しい年を皆様ご健勝に迎えられました事、心よりお喜び申し上げます。
昨年は、コロナが二類から五類になったことでまちづくり委員会の各行事は皆様方のご協力・ご支援により開催することができましたことあらためてお礼申し上げます。

十二月には、皆様もご承知の通り、京都清水寺に於いて一年の世相を表す一文字が「祝」となりました。又、国会では裏金問題が表面化し、政治に対する不信や不安により先のみえない状況になりましたが、今年の干支「龍」は、天にも昇る強さをもっているともいわれています。

赤目まちづくり委員会では、そのいきおいをいただきながら、諸活動を進めてまいりたいと思っております。

赤目をさらに元気で住みやすいまちにしたいけるよう今まで以上のご協力・ご支援を賜りますことをお願い申し上げ、年頭の挨拶とさせていただきます。



有志の方々に製作いただいた
赤目市民センターの門松

赤目市民センターセンター長 藤永和生



新年あけましておめでとございませう。
昨年は、赤目市民センターの運営、活動にご理解とご協力を賜り誠にありがとうございました。

本年もどうぞよろしくお願ひ致します。
赤目市民センターは、生涯学習活動やサークル活動を通して、誰もが気軽に立ち寄り、人とひととの交流の場所となりうるように、施設や機能の充実を図っております。

加えて、生涯学習活動の推進や啓発を積極的に行っております。
生涯学習活動をすることにより、生活に様々な楽しみや生きがいを見つけること、新しい人との出会いにより人とのつながりが出来ること、また、視野の広がりによって人格が磨かれること等のメリットがあります。

新しい年を迎え、一人ひとりが、自発的意思に基づき、必要に応じて、自己に適した手段・方法を選び、「生涯学習活動」に一度挑戦してみるといふのはいかがでしょうか。皆様の生涯学習活動へのご参加をお待ちしています。

最後に、皆様のご健康とご多幸を心よりお祈りいたします。
本年も引き続き、赤目市民センターへのご支援、ご協力を賜りますよう、心よりお願い申し上げます。

1月号

2024 (令和6年)

[発行]

赤目まちづくり委員会
通信編集委員会

赤目市民センター

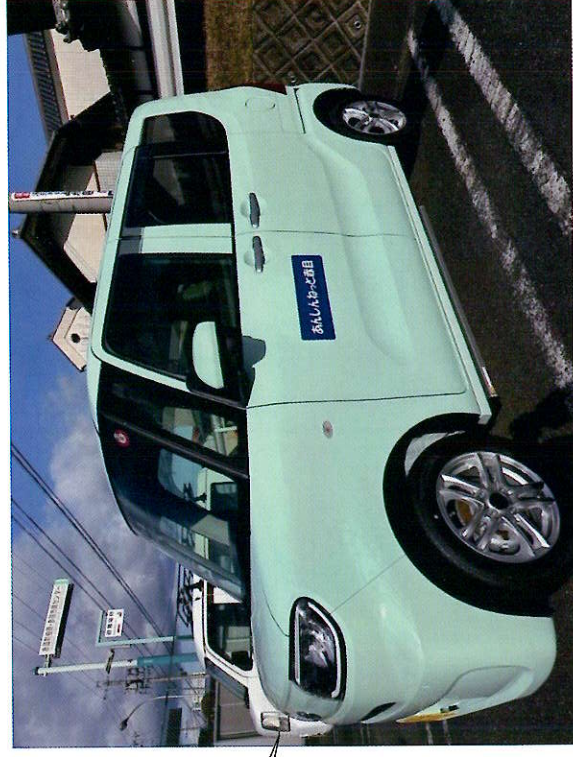
Tel 63-0329



あんしんねつと赤目の車が新しくなりました！



—12月19日 (火) から運行しています—



色はアイスグリーン！
前とはちょっと違うので、「あんしんねつと赤目」のステッカーを見てね



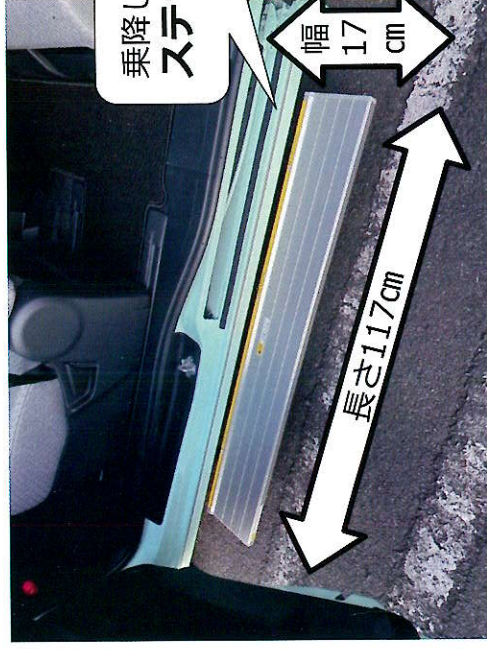
このステッカーが目印！

利用される皆さんに乗降していただきやすいように、ステップが付いた車になりました。

ドアを開けるとステップが出てきて、ドアを閉めるとステップが収納されるようになっています。

利用者の皆さんに、安全にステップを使っていただけるように、ドアの開け閉めは、必ず運転手が行います。ドアが開いて、ステップがきちんと出たら、運転手が声をおかけしますので、それからゆつくり乗ったり下りたりしてください。

前の車と色が少し違いますので、「あんしんねつと赤目」のステッカーを目印に、お乗り下さいね。



乗降しやすい
ステップ付きです！

